

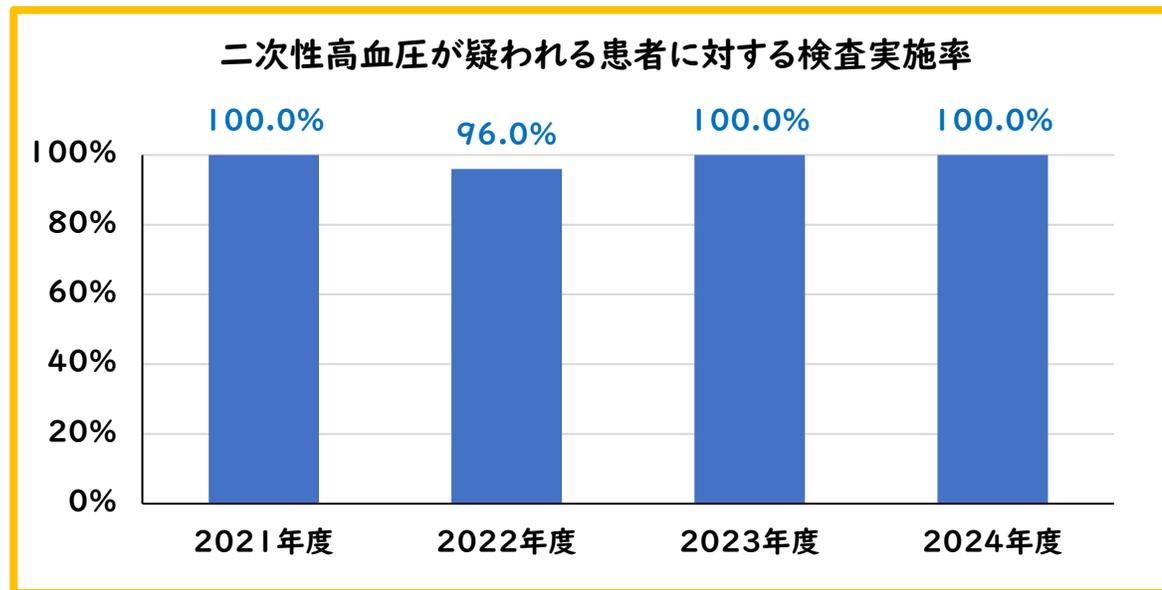
2 二次性高血圧が疑われる患者に対して 24時間血圧測定と 内分泌精査が行われている患者の割合

内分泌・糖尿病内科

◆解説◆

高血圧診療は診断イナershアが問題となっています。すなわち、高血圧の精密検査が正しく行われず、診断と治療が適切に行われていない可能性があると考えられています。当科では24時間血圧を測定したり、血圧を上昇させるホルモンを測定したりすることで、適切な高血圧診断および治療を実施していくことを目標としています。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

当科では4年連続で、高血圧患者さんの95%以上に24時間血圧測定と、血圧を上昇させるホルモン測定を行っています。

つまり、高血圧について非常に細かく検査を行っており、適切な診断、治療が行えていると考えます。

◆定義◆ 分母: 「褐色細胞腫の疑い」「副腎腫瘍の疑い」「クッシング病の疑い」「クッシング症候群の疑い」「原発性アルドステロン症の疑い」「腎血管性高血圧の疑い」「腎血管性高血圧」「内分泌性高血圧症」「二次性高血圧」が主病名の退院患者
分子: ①24時間血圧測定+②内分泌ホルモン測定を行った患者